2021年12月期
決算説明資料

2022年2月10日
富士ソフト株式会社

目次

P2.　2021年12月期 連結業績
P14. 2021年12月期業況

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

1.連結業績ハイライト①　（4Q累計1-12月実績）

売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は金融業向け開発およびシステムインフラ構築案件が好調に推移したことなどにより、前同比107.0%の257,891百万円となりました。

営業利益は一過性の不採算案件があったものの、増収により増益

◇営業利益は、一過性の不採算案件があったものの、増収および販管費の増加を抑制したことにより、前同比105.4%の16,838百万円となりました。

◇経常利益は、増収および為替差益の増加等により前同比110.0%の17,976百万円となりました。

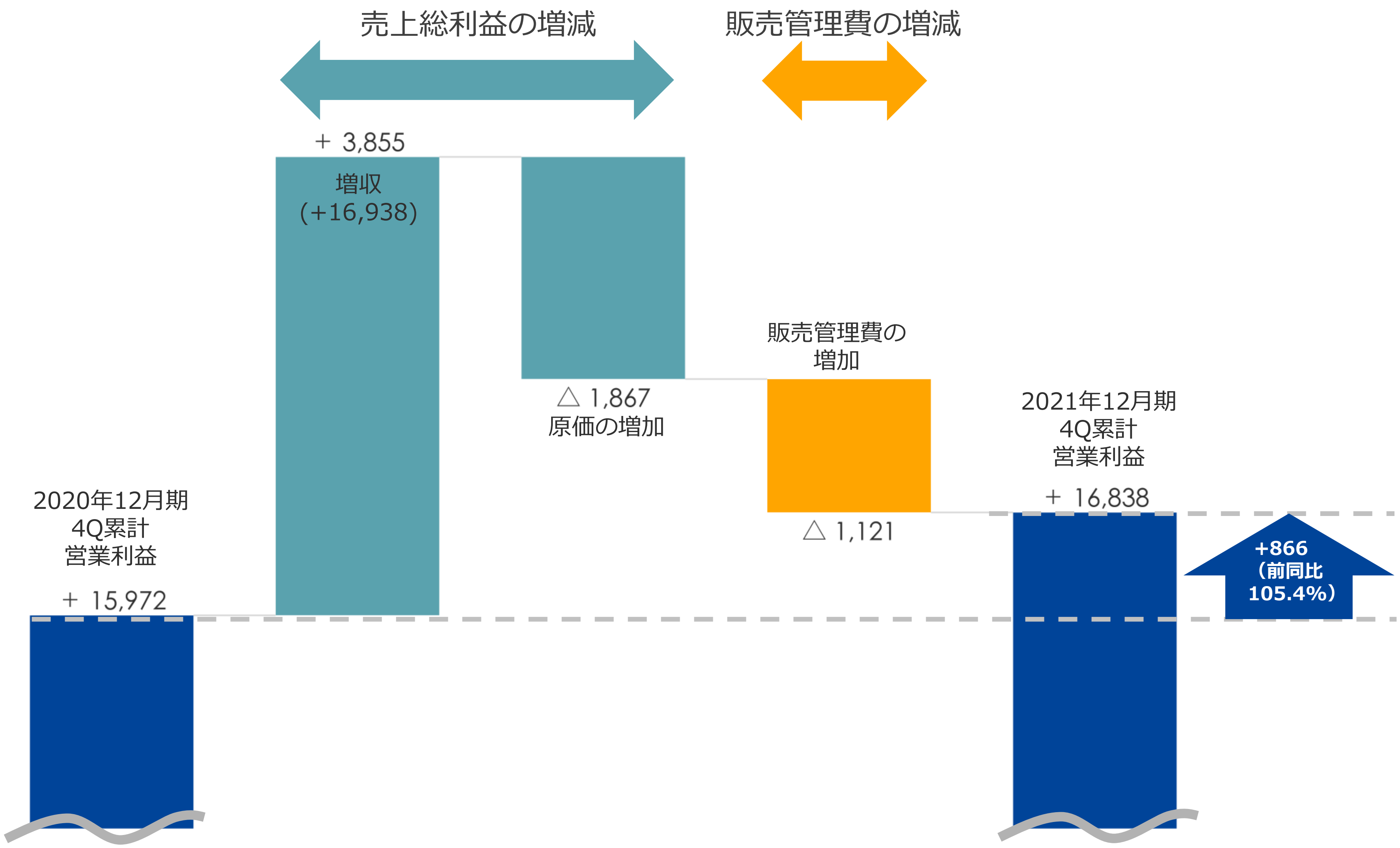
◇親会社株主に帰属する当期純利益は、前同比106.5%の9,130百万円となりました。

（単位：百万円）

	2020年12月期 4Q累計実績	2021年12月期 4Q累計実績	前同差	前同比	2021年12月期 計画	2021年12月期 計画比
売上高	240,953	257,891	+16,938	107.0%	249,000	103.6%
営業利益	15,972	16,838	+866	105.4%	16,300	103.3%
営業利益率	6.6%	6.5%			6.5%	
経常利益	16,343	17,976	+1,633	110.0%	16,900	106.4%
経常利益率	6.8%	7.0%			6.8%	
親会社株主に帰属する当期純利益	8,573	9,130	+556	106.5%	8,900	102.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	3.6%	3.5%			3.6%	

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

連結営業利益の状況（1-12月）



© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

1.連結業績ハイライト②（4Q区間10-12月実績）

売上高はシステム構築分野の増加により、前同比106.4%と増収

◇当四半期の売上高は、業務系では金融業およびシステムインフラ構築案件の増加、組込系では機械制御系および自動車関連が堅調に推移し、前同比106.4%の63,057百万円となりました。

営業利益は前同比106.1%と増加

◇販売費及び一般管理費は、受注体制強化を継続したものの、経費支出を抑制した結果、前年同期から317百万円の増加に留まり、営業利益は前同比106.1%の3,529百万円となりました。

（単位：百万円）

	2021年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2021年12月期 4Q区間実績	前同差	前同比
売上高	194,833	＋13,125	107.2%	63,057	＋3,812	106.4%
売上原価	151,774	＋11,657	108.3%	49,281	＋3,293	107.2%
売上原価率	77.9%			78.2%		
売上総利益	43,059	＋1,468	103.5%	13,775	＋519	103.9%
販売費及び一般管理費	29,750	＋804	102.8%	10,246	＋317	103.2%
営業利益	13,308	＋664	105.3%	3,529	＋202	106.1%
営業利益率	6.8%			5.6%		

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

2.主なグループ会社売上高・営業利益

（単位：百万円）

	2021年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	4Q累計実績	175,680	9,653	売上高は、業務系では金融業向け開発やシステムインフラ構築、組込系では機械制御系分野が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、一過性の不採算案件の発生や、引合拡大に伴う受注体制強化のための先行人員を増加したものの、増収により増益となりました。
	前同差	＋11,586	＋395	
	前同比	107.1%	104.3%	
サイバネットシステム	4Q累計実績	22,697	2,830	売上高は、国内CAEソリューションサービス事業、台湾、中国、韓国、米国、カナダ等の海外子会社の増収により、増収となりました。営業利益は、人件費、デジタルマーケティング投資等の販管費が増加したことにより、減益となりました。
	前同差	＋1,032	△ 46	
	前同比	104.8%	98.4%	
ヴィンクス	4Q累計実績	29,867	2,526	売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外売上の減少はあったものの、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。 営業利益は、生産性の向上などにより増益となりました。
	前同差	＋2,146	＋398	
	前同比	107.7%	118.7%	
サイバーコム	4Q累計実績	15,528	953	売上高は、ソフトウェア開発事業において通信系及び業務系開発案件が好調に推移したことに加え、サービス事業が好調に推移し増収となりました。 営業利益は増収により増益となりました。
	前同差	＋1,856	＋125	
	前同比	113.6%	115.2%	
富士ソフト サービスビューロ	4Q累計実績	9,345	573	売上高は、BPOサービス、コールセンターサービスともに地方自治体向けの案件が堅調に推移し、増収となりました。 営業利益は、異業種からの市場参入を背景とする価格競争の影響により、前年並みとなりました。
	前同差	＋214	＋2	
	前同比	102.3%	100.5%	

※「2021年12月期4Q累計実績」欄には、各社2021年1～12月の実績を記載しています。

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

3.連結セグメント別売上高・営業利益

（単位：百万円）

	2021年12月期売上高 4Q累計実績	構成比	前同差	前同比	2021年12月期営業利益 4Q累計実績	営業利益率	前同差	前同比
全社計	257,891	100.0%	＋16,938	107.0%	16,838	6.5%	＋866	105.4%
SI事業	244,897	95.0%	＋16,902	107.4%	15,491	6.3%	＋583	103.9%
システム構築	147,182	57.1%	＋13,165	109.8%	9,802	6.7%	＋994	111.3%
組込系／制御系ソフトウェア	68,517	26.6%	＋3,476	105.3%	5,090	7.4%	＋165	103.4%
業務系ソフトウェア	78,665	30.5%	＋9,688	114.0%	4,711	6.0%	＋829	121.4%
プロダクト･サービス	97,714	37.9%	＋3,737	104.0%	5,688	5.8%	△ 411	93.3%
プロダクト･サービス	84,037	32.6%	＋4,065	105.1%	4,767	5.7%	△ 354	93.1%
アウトソーシング	13,677	5.3%	△ 328	97.7%	921	6.7%	△ 57	94.1%
ファシリティ事業	2,612	1.0%	△ 41	98.5%	956	36.6%	＋145	117.9%
その他事業	10,381	4.0%	＋76	100.7%	391	3.8%	＋137	154.3%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、機械制御系および社会インフラ系が堅調に推移し、前同比105.3%となりました。
営業利益は、増収により前同比103.4%となりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、金融業向け、流通業向け開発およびシステムインフラ構築や官公庁案件が好調に推移し、前同比114.0%となりました。
営業利益は、増収により前同比121.4%となりました。

●プロダクト・サービス

売上高は、 GIGAスクールに関連するPC販売案件などにより、前同比105.1%となりました。
営業利益は、自社製品の販売が減少したことにより、前同比93.1%となりました。

●アウトソーシング

売上高は、海外顧客の店舗休業によるサービス利用料の減少等により、前同比97.7%となりました。
営業利益は、減収により前同比94.1%となりました。

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

4.連結損益計算書

（単位：百万円）

	2020年12月期 4Q累計実績	2021年12月期 4Q累計実績	前同差	前同比	2021年12月期 4Q累計計画	計画比
売上高	240,953	257,891	+16,938	107.0%	249,000	103.6%
売上原価	186,105	201,055	+14,950	108.0%	ー	ー
売上原価率	77.2%	78.0%	①			
売上総利益	54,847	56,835	+1,987	103.6%	ー	ー
売上総利益率	22.8%	22.0%				
販売費及び一般管理費	38,875	39,997	+1,121	102.9%	ー	ー
販管費率	16.1%	15.5%				
営業利益	15,972	16,838	+866	105.4%	16,300	103.3%
営業利益率	6.6%	6.5%			6.5%	
営業外収益	514	1114	+600 ②	216.7%	ー	ー
営業外費用	436	153	△ 283	35.1%	ー	ー
持分法による投資損益	292	176	△ 116	60.3%	ー	ー
経常利益	16,343	17,976	+1,633	110.0%	16,900	106.4%
経常利益率	6.8%	7.0%			6.8%	
特別利益	988	2,951	+1,963 ③	298.7%	ー	ー
特別損失	1,683	3,261	+1,577	193.7%	ー	ー
税金等調整前四半期純利益	15,647	17,666	+2,018	112.9%	ー	ー
法人税等合計	5,213	6,329	+1,115	121.4%	ー	ー
四半期純利益	10,434	11,337	+902	108.7%	ー	ー
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,860	2,206	+346	118.6%	ー	ー
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,573	9,130	+556	106.5%	8,900	102.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.6%	3.5%			3.6%	

損益計算書のポイント

① 売上原価率（78.0%）

GIGAスクールに関連するPC販売や一過性の不採算案件などにより増加

② 営業外収益（+600百万円）
営業外費用（△283百万円）

営業外収益は、為替差益の増加
営業外費用は前期の為替差損および助成金返還等による減少

③ 特別利益（+1,963百万円）
特別損失（+1,577百万円）

特別利益は、政策保有株式売却に伴う投資有価証券売却益による増加
特別損失は、関係会社株式売却損および有形固定資産減損損失による増加

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

5.連結貸借対照表

	2020年12月期 期末	2021年12月期 期末	前期末差
流動資産	105,363	111,128	+ 5,764
現金及び預金	38,330	40,351	+ 2,021
受取手形及び売掛金	52,750	57,352	+ 4,602
有価証券	6,000	5,000	△ 1,000
たな卸資産	5,526	4,449	△ 1,077
その他	2,756	3,974	+ 1,217
固定資産	129,173	117,786	△ 11,386
有形固定資産	89,928	90,344	+ 416
無形固定資産	4,705	4,547	△ 157
投資その他の資産	34,539	22,894	△ 11,645 ①
資産合計	234,537	228,915	△ 5,622
流動負債	68,751	68,018	△ 733
支払手形及び買掛金	12,519	12,947	+ 428
短期借入金	24,156	19,462	△ 4,693
未払費用･賞与引当金	10,801	11,971	+ 1,170
未払法人税等	3,155	5,247	+ 2,091
工事損失引当金	225	266	+ 40
その他	17,892	18,122	+ 229
固定負債	30,623	17,928	△ 12,694
長期借入金	20,515	9,366	△ 11,149 ②
その他	10,107	8,562	△ 1,544
負債合計	99,374	85,946	△ 13,427
純資産合計	135,163	142,968	+ 7,805
負債純資産合計	234,537	228,915	△ 5,622

貸借対照表のポイント

① 投資その他の資産（△11,645百万円）

政策保有株式売却による投資有価証券の減少

②長期借入金（△11,149百万円）

資金計画に基づく長期借入金の返済

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

6.連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2020年12月期 4Q累計実績	2021年12月期 4Q累計実績	前同差
営業活動によるキャッシュ･フロー	14,787	15,907	+1,119
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 16,109	4,894	+21,003
財務活動によるキャッシュ･フロー	12,703	△ 17,871	△ 30,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 89	496	
現金及び現金同等物の増減額	11,291	3,425	
現金及び現金同等物の期首残高	26,158	37,450	
現金及び現金同等物の期末残高	37,450	40,876	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー
当期は15,907百万円の収入となりました。
なお、増収による入金増加により、前同差は1,119百万円となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー
当期は投資有価証券および関係会社株式売却により、4,894百万円の収入となりました。
なお、前期はオフィススペース確保のための建設費用支出があったことにより、前同差は21,003百万円の増加となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー
当期は短期借入金の返済などにより、17,871百万円の支出となりました。
なお、前期に運転資金等に関する借入があったことにより、前同差は30,575百万円の減少となりました。

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

7.連結ＳＩ事業の受注高・受注残高

（単位：百万円）

	2021年12月期 4Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	60,265	110.1%	242,966	104.0%	244,897	107.4%	58,334	96.8% ※1
システム構築	35,768	102.5%	149,686	111.0%	147,182	109.8%	38,273	107.0% ※2
組込系／制御系ソフトウェア	14,075	99.6%	67,947	104.6%	68,517	105.3%	13,506	96.0% ※3
業務系ソフトウェア	21,693	104.5%	81,739	116.9%	78,665	114.0%	24,766	114.2%
プロダクト･サービス	24,496	123.6%	93,279	94.5%	97,714	104.0%	20,060	81.9%
プロダクト･サービス	22,412	130.8%	79,833	93.6%	84,037	105.1%	18,208	81.2%
アウトソーシング	2,084	77.7%	13,445	100.3%	13,677	97.7%	1,852	88.9%

※1、※2 受注計上の社内運用ルールの見直しにより、一部案件の受注計上時期を変更いたしました。
従来の計上方法における、**SI事業の期末受注残高は前同比98.6%、システム構築は前同比110.1%**となります。

受注高・受注残高のポイント

●システム構築分野のポイント

・組込系/制御系ソフトウェア
受注は、機械制御系が増加したことなどにより、前同比104.6%となりました。
また、期末受注残高は前同比96.0%となりました。
※３ 従来の計上方法における期末受注残高は前同比103.8%となります。

・業務系ソフトウェア
受注は、金融業および流通・サービスやシステムインフラ構築案件が好調に推移したことにより、前同比116.9%となりました。
また、期末受注残高は前同比114.2%となりました。

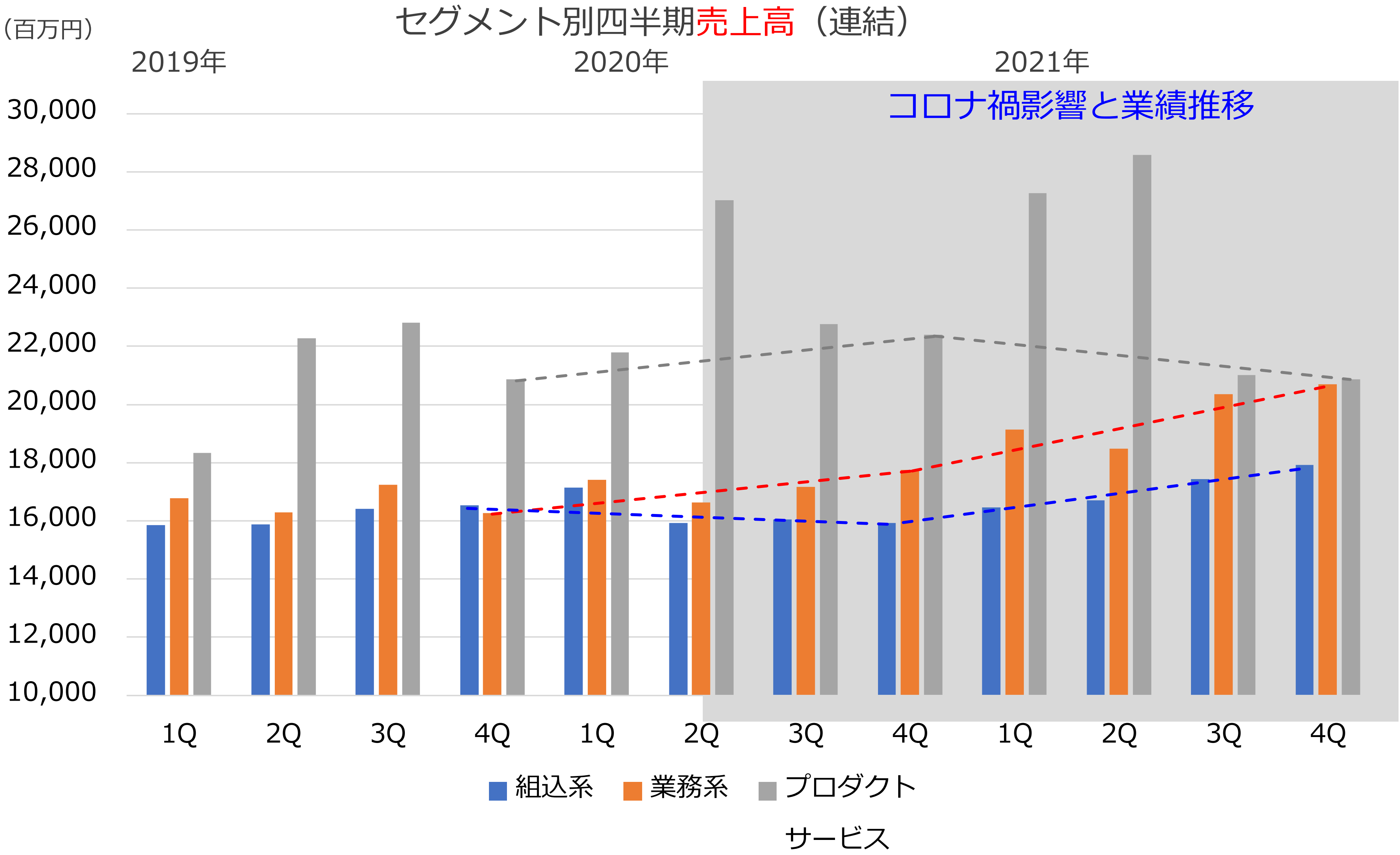
●プロダクト・サービス分野のポイント

・プロダクト・サービス
受注は、前年に大型の他社ライセンスおよびGIGAスクールに関連するPC販売案件があったことにより、前同比93.6%となりました。
また、期末受注残高は前同比81.2%となりました。

・アウトソーシング
受注は、海外顧客の店舗休業によるサービス利用が減少したものの、運用保守案件の増加等により、前同比100.3%となりました。
また、期末受注残高は前同比88.9%となりました。

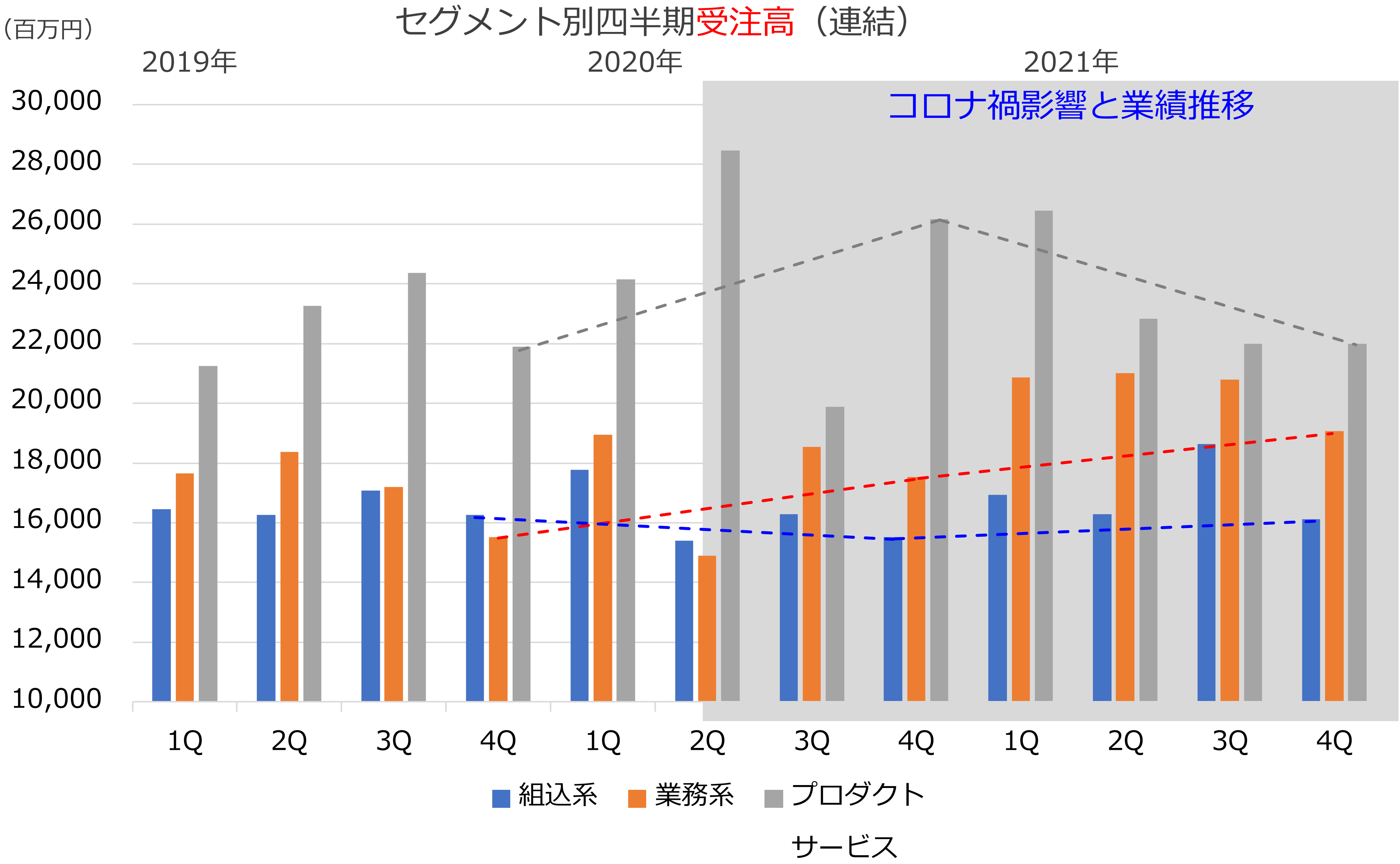
© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

四半期別業績推移（2019年～2021年4Q）



© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

四半期別業績推移（2019年～2021年4Q）



© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

8.配当について

2021年12月期 期末配当金

期末配当は期末配当予想通り26円
（1株当たり年間配当金52円）

■ 1株当たり配当金 (連結)

（単位：円）

	第2四半期末	直近の 期末配当予想	期末配当決定額	年間配当金
1株当たり配当金 (2021年12月期)	26.00円	26.00円	**26.00円**	**52.00円**

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

2021年12月期業況

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

2021年度の取り組み結果

経営のポイント		2021年度の取り組み結果
新技術への果敢な取り組み 「ＡＩＳ－ＣＲＭ」	コロナ禍影響と対策 ↓ 新常態に向けた最適化	DX関連ニーズを背景にAIS-CRMの各技術分野における案件獲得が進展
付加価値の高いシステムインテグレーション事業の推進		システム構築においては、ＤＸ分野や開発手法などで新規性が高い案件でのトラブルがあったものの、コロナ影響があったマーケットから付加価値の高い事業へ機動的なリソース配分を行い成長を実現
人材強化と受託開発事業の確実な成長		採用強化およびスキル評価体系の見直しによる人材の確保と育成を加速
プロダクト事業の積極推進		上期は他社ライセンス・GIGAスクールに関連するＰＣ販売やモバイルルーター販売が好調も下期は減速
グループ全体での成長と積極的なグローバル展開		一部グループ会社に販売代理店契約終了による減速がみられるも、需要回復に伴い多数の会社が増益を確保

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

2021年度の業況

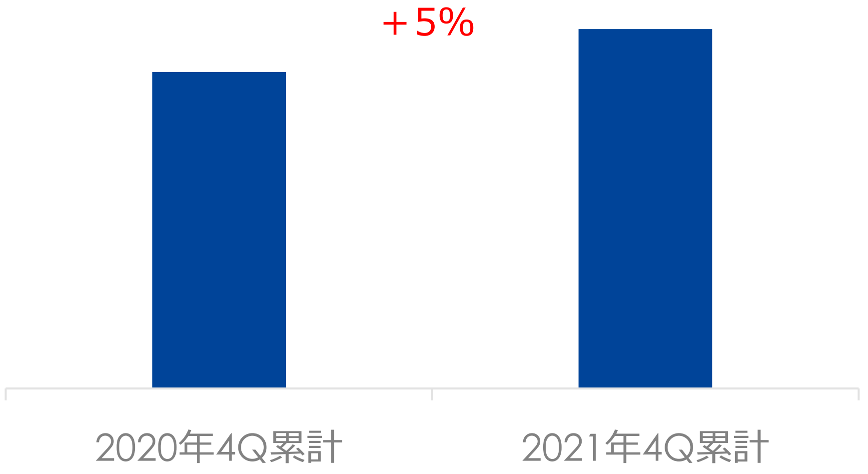
2021年度の当社事業分野の相対的な業況

	従来分野	AI	IoT	Security	Cloud・仮想化	Robot	Mobile
組込・制御系分野							
機械製造業：回復基調	↗		↗	↗		→	
自動車分野：回復基調	→	↗	↗	↗			
社会インフラ系：堅調	↗		↗				
業務系分野							
金融関連ビジネス：回復基調	↗	↗		↗	↗		
流通・サービス業：堅調	↗	↗	↗		↗		
製造業：堅調	↗	↗	↗		↑		
システムインフラ関連：活況	↑			↗	↑		
ネットビジネス関連：活況	↑	↗		↗	↑		
官公庁系：堅調	↗			↗			
プロダクト・サービス分野							
クラウド関連商材：活況	→		↗	↗	↑		
マイクロソフト製品：横ばい	→			↗	↗		
自社商材：やや減速	↘		↗			→	↘
アウトソーシング：抑制	↓						

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

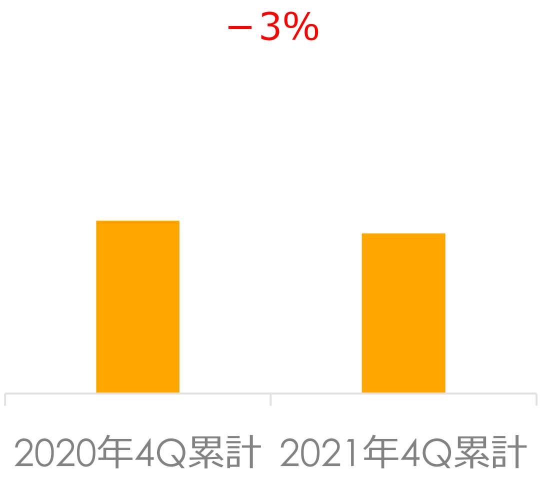
プロダクト・サービス分野の状況（売上高）

【プロダクト・サービス売上高】

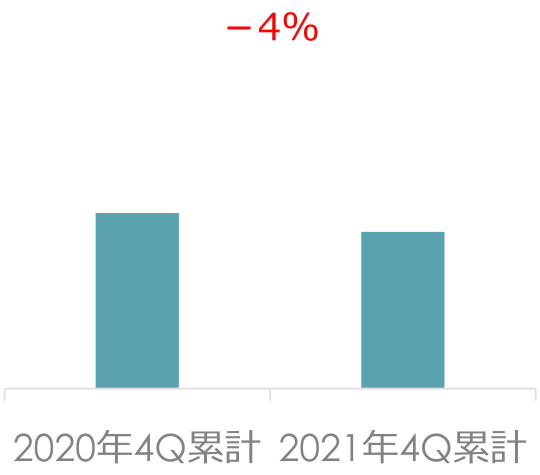


プロダクト・サービス内訳

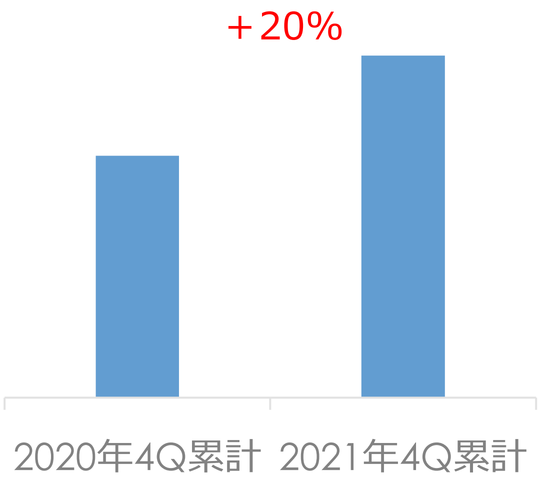
【自社プロダクト売上高】



【ライセンスビジネス売上高】



【物販等】



© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

2022年12月期　連結業績予想

2022年12月期

（単位：百万円）

	2020年12月期 実績	2021年12月期 計画	前年差	前年比
売上高	257,891	**265,500**	＋7,608	103.0%
営業利益	16,838	**17,300**	＋461	102.7%
営業利益率	6.5%	**6.5%**		
経常利益	17,976	**18,500**	＋524	102.9%
経常利益率	7.0%	**7.0%**		
親会社株主に帰属する当期純利益	9,130	**9,700**	＋570	106.2%
親会社株主に帰属する当期純利益率	3.5%	**3.7%**		

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

配当の推移と計画

2022年12月期 年間配当は109円／株を予定

東京証券取引所の市場再編によるプライム市場への移行を踏まえ、配当方針を以下の通り見直します。

■ 配当方針

積極的な事業展開や不慮のリスクに備えるために一定の内部留保を確保しつつ、「安定的な利益還元」を基本方針としながら、事業の成長性、安定性、資本効率などの状況を総合的に勘案し、連結配当性向30%以上といたします。

■ 1株当たり当期純利益・配当金・配当性向の推移(連結)

（単位：円）

	2018年12月期 実績	2019年12月期 実績	2020年12月期 実績	2021年12月期 実績	2022年12月期 計画
1株当たり当期純利益	208.22	250.40	273.96	273.96	309.38
1株当たり配当金	37	42	46	46	109
記念配当	-	-	5	-	-
配当性向	17.8%	16.8%	18.6%	17.9%	35.2%

© 2022 FUJI SOFT INCORPORATED. All rights reserved.

FUJISOFT

※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。
また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。